



いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会へ

# -mind

Take Free  
ご自由に  
お持ちください



2026  
Vol. 33  
増刊号

## 2025年11月 堀 隆樹 院長就任



聞かせて！  
院長 堀 隆樹

患者さんも職員もファミリー  
”行くのが楽しみ”と思える  
人が集まる病院に

- コラム  
多職種連携を深め、  
より良い医療提供に  
つなげる  
— 恒例の忘年会を開催
- News  
症例検討会を  
開催しました
- Information



聞かせて!

院長

堀 隆樹

Takaki Hori

## PROFILE

【ほり・たかき】

1987年徳島大学卒業。千葉西総合病院、鎌ヶ谷総合病院を経て2025年11月より当院院長。医学博士、心臓血管外科専門医認定機構日本心臓血管外科専門医、日本外科学会専門医、胸部ステントグラフト指導医、腹部ステントグラフト指導医。

## 患者さんも職員もファミリー “行くのが楽しみ”と思える 人が集まる病院に

### みんなで楽しく いい職場にしたい

この度、2025年11月に院長に就任いたしました。当院が10周年を迎えた節目ですが、私は2013年から県内の徳洲会グループ病院にいましたし、開院当初にはここで外来の診療もしていました。

11月に来たばかりなので分析中ですが、当院は敷地の規模が大きく、まだまだ病床を増やせる可能性があります。新たに病棟を稼働させ、より多くの患者さんを受け入れられるようにすることが自分の使命になると考えています。

簡単ではありませんが、そのためには病棟で働いてくれる看護師、そして病院の診療力を高める医師の増員が必須です。幸い当院はいま設備も十分にそろっているので、今後は特に“人”への投資を大切にしていきたいですね。

人が集まる病院にするためには、職員みんなで協力し、もっともっと楽しくて、いい職場にすることが必要です。学校に行くのを楽しみにしている子どもみたいに、患者さんも

職員も「行くのが楽しみになるような病院」が理想だと思っています。

### クラブ活動で職員と 吹奏楽を楽しむ

鎌ヶ谷総合病院（鎌ヶ谷市）で院長を務めていた時に、離職を少なくし、新しい職員に来てもらうためにはどうしたらいいかと考えました。例えば、院内ですれ違う人がみんな笑顔で挨拶してくれる所と、話しかけても冷たい感じの所。職員間でしっかり意見を出し合っている所と、雰囲気が良くない所。どちらで働きたいと思うかは明白ですよ。

明るく楽しい職場にするために、いろいろと改革しました。挨拶の練習もしましたね。声を掛け合っているうちに、言葉が素直に出てくるようになるんですよ。そのうちに、「この病院にまた来たい」と言ってくれる患者さんも増えていきました。

職員の交流も活発になり、吹奏楽のクラブ活動には僕も参加していました。実は院長室にスネアドラム（小太鼓）が置いてあって、いまも夕方以降に時々練習しているんです。

演奏会もあって、職員と気軽に話したり一緒に楽しんだりできる機会だったので、当院でもぜひやりたいなと思っています。

### 笑顔で挨拶できる病院

“患者ファースト”というのは、職員が守られてこそそのものです。

病院は、ただ病気を治せばいいのではなく、心もケアすることで心身ともに元気になってもらう場だと私は思っています。だから、まずは職員が笑顔で患者さんに挨拶できる病院でありたい。でも、一人ひとりが大事にされ、一緒に働きやすい職場でなければ、患者さんに笑顔で優しく接することは難しいでしょう。

人間は無理し続けると体を壊しますが、もっと大事なものは“心”です。何かで傷ついている人たちを切り捨てていくのではなく、心が壊れてしまう前に手を差し伸べ、「自分は守られている」と感じてもらえるように、できるだけことをしたいと思っています。

全ての職員はファミリーの一員。その職員それぞれが患者さんや地域

の人たちとも家族同様に声を掛け合って、「あの先生の顔を見ると、ほっとする」「お世話になったあの看護師さんにまた会いたい」と言ってもらえる、そんな医療を目指しています。

## 心臓血管外科分野で 血管内治療に専心

私は大学病院や県立の大病院で20年近く心臓血管外科医として第一線に立ち、なかでもカテーテルを用いた血管内治療の道を突き詰めてやってきました。

その後、初めて入った徳洲会グループの病院が、当時から「急性大動脈解離」の手術を多く手がけていた千葉西総合病院（松戸市）です。在籍中、大動脈瘤や大動脈解離の手術を専門とする自身のチームで、

数多くの症例に携わってきました。

大動脈は、心臓から出て胸腹部を通っている人体で最も太い血管です。動脈硬化などが原因で起こる大動脈瘤・大動脈解離に対し、人工血管付きのステントを挿入して血管の内側から補強する「ステントグラフト内挿術」は、低侵襲で回復が早く、体力のない人や他の病気がある人にも行うことができます。特に「胸部大動脈瘤」に対しては、高齢でも手術の前と同じくらい元気になってもらえる可能性が高い手術です。

## 家族同様にあたたかく 患者さんを迎えたい

今後、培ってきた経験・知識や人脈を生かして、この分野を当院で強化するだけでなく、地域の救急

医療を充実させていくことにも貢献したいと考えています。

成田地区は高齢の人が多く、より低侵襲な手術を積極的に行っていく意義のある土地です。また、非常に広い区域ですから、複数の病院が連携しなければ全域をカバーできません。他の救急病院としっかり連絡を取り、補い合いながらやっていけたらと思っています。

着任早々ですが、「ありがとう月間」ということで、朝礼で「ありがとう」の練習をしています。前後左右の人と「ありがとう」を言い合うのですが、その瞬間に出てくる笑顔がいい。みんな笑顔になります。

その笑顔を忘れずに、職員一同、皆さんを家族同様にあたたかく迎えられるように努力していきますので、これからも成田富里徳洲会病院を見守っていただけたら幸いです。



## コラム

### 多職種連携を深め、より良い医療提供につなげる ―恒例の忘年会を開催

本年度も、職員同士の交流を深め、1年の労をねぎらう場として、恒例の忘年会を開催しました。当日は医師・看護師・リハビリスタッフ・事務職などが参加し、会場は開始直後から和やかな雰囲気に包まれました。部署や職種の垣根を越えて語り合う姿があちこちで見られ、普段の業務ではなかなかゆっくり話す機会のない職員同士が交流を深める貴重な時間となりました。

また、職員の家族も参加形式で、会場には子どもたちの元気な声も響き、より一層にぎやかな会となりました。会の後半には特別企画として、堀院長、橋本副院長がサンタクロースに扮して登場！とつぜん現れたサンタに、子どもたちは目を輝かせ、一人ひとりに手渡されるプレゼントに笑顔があふれました。

会では部署ごとの出し物としてカラオケやダンスなどが披露され、会場は大いに盛り上がりました。会場から一斉にリズムミカルな拍手が起こる場面もあり、職員同士の距離が一層縮まるひとときとなりました。



開会にあたって堀院長より挨拶



サンタの登場に子どもたちのテンションが最高潮！サンタとしても子どもたちが喜んでくれるのが何よりでした

今回の忘年会は、職員の労をねぎらう場であると同時に、チーム医療の基盤となる多職種間の理解と連携を深める重要な機会となりました。今後も、より良い医療提供のために、職員同士が互いを理解し支え合える交流の場を大切にしていきます。



## 症例検討会を開催しました



熱心に耳を傾ける救急隊員の皆さま

2025年10月23日(木)に、当院にて地域の救急医療体制の連携強化を目的とした近隣の消防の方に向けた症例検討会を開催しました。今回は、成田・富里・山武・佐倉・栄町の5つの地域から約55名の救急隊員の皆さまにご参加いただきました。

症例報告では、外科医長の久米菜央医師からは「大動脈解離」、総合診療科医長の大吉希医師からは「上部消化管出血」の症例が報告されました。そして荻野秀光名誉院長より、日頃から地域の救急を支える消防職員への感謝とともに、今回の検討会を通じてより円滑な連携を図りたいとの言葉がありました。

救急現場と病院が共に学び合い、地域の救急医療の質向上に寄与する大変有意義な機会となりました。



久米医師による症例報告「大動脈解離」



大吉医師による症例報告「上部消化管出血」



荻野名誉院長による挨拶

## Information



### 中学生の職場体験を実施しました

当院では毎年、近隣中学校の職業体験学習を受け入れています。今年度は10月に2校の中学校からそれぞれ5名の生徒さんが参加しました。

当日は、病棟見学や車椅子体験に加え、手術室・検査科・放射線科・薬局など複数の部署を見学。腹腔鏡手術やエコー検査、調剤ピッキングなど、医療現場の一部を実際に体験していただき、医療職への理解を深めていただきました。

参加した生徒さんからは「普段見ることができない病院のさまざまな場所を見学でき、とても勉強になった」といった感想が寄せられました。今回の体験を通じて、医療の仕事への理解を深めていただけたことを、職員一同うれしく思います。



ICUを見学する中学生

手術室で腹腔鏡手術を体験 実際のリハビリを体験



最後に堀院長(右)、三浦看護部長(左)より挨拶



お礼のお手紙をいただきました

### 成田富里徳洲会病院の運営方針

徳洲会の基本理念「生命だけは平等だ」をこの成田富里の地で実現することを使命として運営します。

#### 理念の実行方法

1. 救急患者さんを断らない
2. 患者さんからの贈り物は一切受け取らない
3. 安心安全な質の高い医療を提供する
4. 地域のニーズに耳を傾け、患者さん目線で医療を提供する
5. 高度な技術と豊かな人間性を併せ持つ医療人を育成する



国道51号線からの場合、京成成田駅入口の信号を富里方面へ曲がり約100m 東関東自動車道の場合、富里ICより成田駅方面へ約8分



医療法人徳洲会

成田富里徳洲会病院

〒286-0201 千葉県富里市日吉台 1-1-1 ☎0476-93-1001(代)  
E-mail soumu@naritatomisato.jp https://www.naritatomisato.jp/



「とみちゃん」は富里市の公式マスコットキャラクターです。